

就労継続支援A型事業所におけるスコア表 (全体)		様式2-1	
		令和 5 年	4 月 30 日
事業所名	特定非営利活動法人さくらんぼのお家	事業所番号	3210600163
住 所	島根県江津市桜江町谷住郷 1 7 1 3 - 1	管理者名	所長 飯田香代子
電話番号	0 8 5 5 - 9 2 - 1 1 7 1	対象年度	令和 4 年度
<b>(I) 労働時間</b>		<b>(IV) 支援力向上 (※)</b>	
①1日の平均労働時間が7時間以上	55	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	15
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		参加した職員が1人以上半数未満であった	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		参加した職員が半数以上であった	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		②研修、学会等又は学会誌等において発表	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		1回の場合	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		2回以上の場合	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		③視察・実習の実施又は受け入れ	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		いずれか一方のみの取組を行っている	
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		いずれの取組も行っている	
<b>(II) 生産活動</b>		④販路拡大の商談会等への参加	
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	25	1回の場合	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		⑤職員の人事評価制度	
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		⑥ピアサポーターの配置	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		ピアサポーターを職員として配置している	
<b>(III) 多様な働き方 (※)</b>		⑦第三者評価	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	25	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
就業規則等で定めている		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
②利用者を職員として登用する制度		小計(注2)	2 点
就業規則等で定めている		(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		<b>(V) 地域連携活動</b>	
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○ 10 点
就業規則等で定めている		1事例以上ある場合:10点	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計(注1)	6 点	合計	
(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点		130 点 / 200点	

就労継続支援A型事業所におけるスコア表 (実績 I~IV)		様式2-2	
<b>(I) 労働時間</b>			
前年度( 2 ) 雇用契約を締結していた全ての 利用者に支払った賞金総額	5,541 時間	雇用契約を締結していた 職員の総数	1,121 人
前年度( 2 ) 雇用契約を締結していた全ての 利用者に支払った賞金総額		前年度( 2 ) 雇用契約を締結していた 職員の総数	
5,541 時間	1,121 人	5 時間	
<b>(II) 生産活動</b>			
会計期間(4月~9月)	前年度( 令和2年度 )		
前々年度( 令和1年度 )	事業活動収入から経費を控えた額	4,095,940 円	経費増に支払った賞金総額
前年度( 令和2年度 )	事業活動収入から経費を控えた額	4,692,520 円	経費増に支払った賞金総額
4,095,940 円	4,692,520 円	6,134,650 円	4,627,150 円
前年度( 令和2年度 )		前年度( 令和2年度 )	
4,095,940 円	4,692,520 円	6,134,650 円	4,627,150 円
<b>(III) 多様な働き方</b>			
前年度( 年度 )における実績(全項目「(I)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合は実績を記載)			
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律	
就業規則等で定めている	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件	
就業規則等で定めている	就業規則等で定めている	就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
<b>(IV) 支援力向上</b>			
前年度( 年度 )における実績(全項目「(IV)支援力向上」の各項目において「国際標準化規格が定めた規格等の認証等」と選択した場合は実績を記載)			
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ	
研修計画を策定している	研修、学会等又は学会誌等において発表している	視察・実習の実施又は受け入れを実施している	
参加した職員が1人以上半数未満であった	参加した職員が半数以上であった	都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアサポーターの配置	
1回の場合	2回以上の場合	ピアサポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書		様式1	
		令和 4 年	4 月 30 日
事業所名	特定非営利活動法人さくらんぼのお家	事業所番号	3210600163
住 所	島根県江津市桜江町谷住郷 1 7 1 3 番地 1	管理者名	所長 飯田香代子
電話番号	0 8 5 5 - 9 2 - 1 1 7 1	対象年度	令和 4 年度
<b>地域連携活動の概要</b>			
<活動内容>	<活動の様子>		
活動場所	谷住郷コミュニティセンター	 <p>令和5年5月3日: 261号沿い井上相申庫</p>  <p>打ち合わせの様子</p>	
実施日程	令和4年4月~毎週第1日曜: 第3日曜		
利用者数	10時~12時		
研修内容	出荷者: 10件; 利用者多数		
<目的>	マルシェを開催することにより、平素廃棄するような野菜でも地域に安く還元して地域の方に喜んでいただける。高齢者の買い物支援。		
<成果>	実施した結果		
	浜田から鮮魚店が来店		
	得られた成果		
	お客から好評だとの声で増加		
	課題点		
	雨天等悪天候対策		
	冬期戸外での販売		
<b>連携先の企業等の意見または評価</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年4月より毎月(第一日曜・第三日曜)の10時より12時まで谷住郷100年マルシェを開催。</li> <li>・毎回前回の反省と今回の重要事項を確認し、売上よりも地域の一体感醸成するために開催した。</li> <li>・お客様から対応がいいと承っています。</li> </ul>			
谷住郷100年マルシェ実行委員会 山崎一由			
連携先企業名	谷住郷100年マルシェ	担当者名	山崎一由